

# ケース付きスプリングタイプスクリーン

## [WCSシリーズ] 取扱説明書

この度はスクリーンをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。  
本製品を正しくお使いいただくために、ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みください。  
お読みになった後は、いつでも読むことのできる場所に大切に保管してください。



### マウントブラケットの取り付け方法について

マウントブラケットを取付ける面(天井 壁) の下地はその設置場所において石膏ボード、木材、コンクリート等 いろいろなケースが考えられます。

設置施工者はご自身の判断において、必ず適切なビス、あるいはアンカーなどを仕様して確実に固定出来るよう取付けて下さい。製品落下事故の恐れがあります。

マウントブラケットに標準で同梱されているネジは木下地の場合に仕様できるものです。(木ねじ 3.8φ×25mm)

製品設置に関して自信のない方は、大工さん・電気屋さん・内装業者など専門業者さんに依頼することをおすすめします。



株式会社 **シアターハウス**

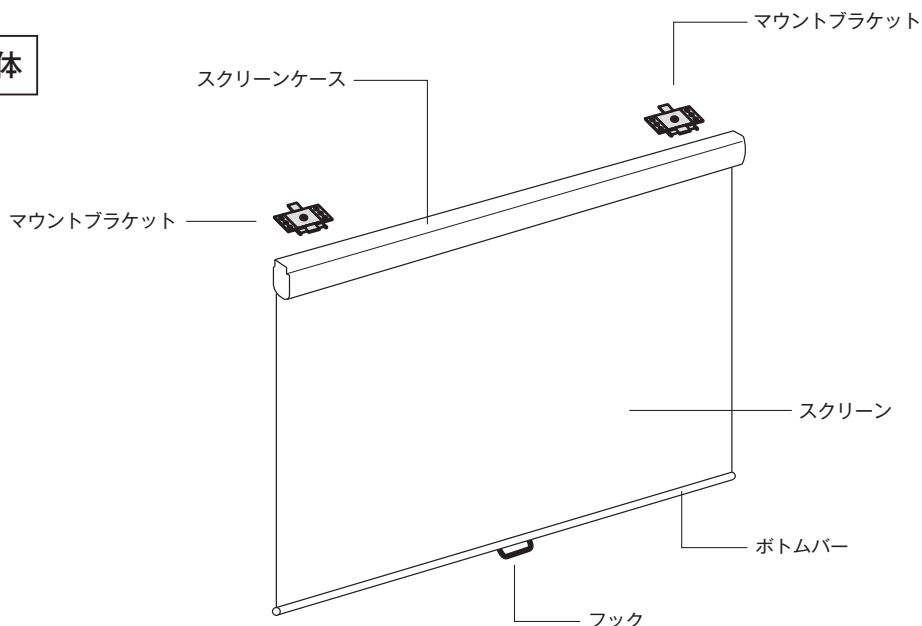
〒910-0124 福井県福井市天池町32-6

TEL.0776-56-0325/FAX.0776-56-2647

e-mail shop@theaterhouse.co.jp

## 製品各部の名称

### 本体



### 付属品

- ・マウントブラケット 2個

マウントブラケットは、製品の両端に付いています。取り外してお使い下さい。



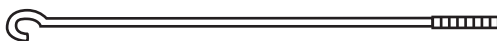
- ・マウントブラケット取付用ネジ 4本 (3.5Φ×25mm)



- ・スプリングワッシャー 4個



- ・ひっかけ棒 1本



### 下地についての注意点

- ・スクリーンを設置場所が石膏ボードの場合は、落下の原因となるため取り付けできません。(石膏ボードアンカーも落下の危険があるので使わないで下さい)
- ・取り付ける場合には、石膏ボード裏の強度ある下地部分にネジを留めるようにして下さい。下地として、厚み12mm以上のベニヤ板を仕込んでおくと取り付けできます。

# スクリーン設置方法

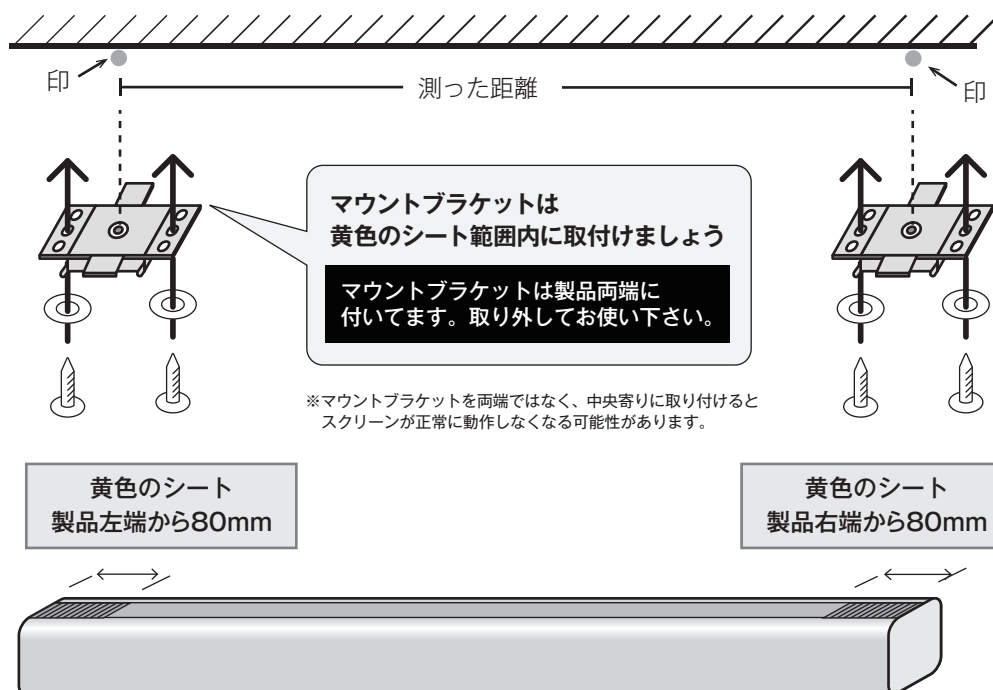
## 天井付けの設置方法

### ① マウントブラケットの取り付け位置を決めます

「ブラケット取付位置」と書かれた黄色のカードの上にマウントブラケットが取り付けられているかを確認し、マウントブラケットの中心から、もう一方のマウントブラケットの中心までの距離を測ります。

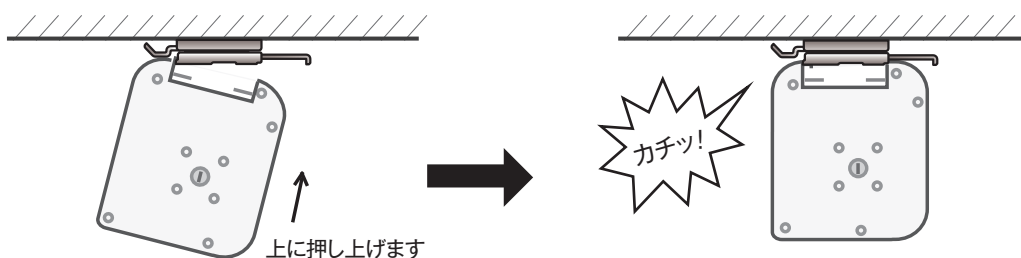
### ② マウントブラケットを取り付けます

天井のマウントブラケット取付位置に鉛筆で印を付け、測った距離だけ離してもう一箇所にも印を付けます。製品からマウントブラケットを取り外し、左右の中央のネジ穴に、ネジ2本で設置してください。



### ③ スクリーンを取り付けます

ブラケットを天井に取り付けたら、あとはスクリーンを取り付けるだけです。製品を斜めにし、マウントブラケットの片端にスクリーンの後ろ側を引っ掛け、上に押し上げてはめ込みます。この際カチッと音がするのを必ず確認して下さい。カチッと音がしない場合、しっかりロックがかかっていない可能性があります。落下の原因となります。

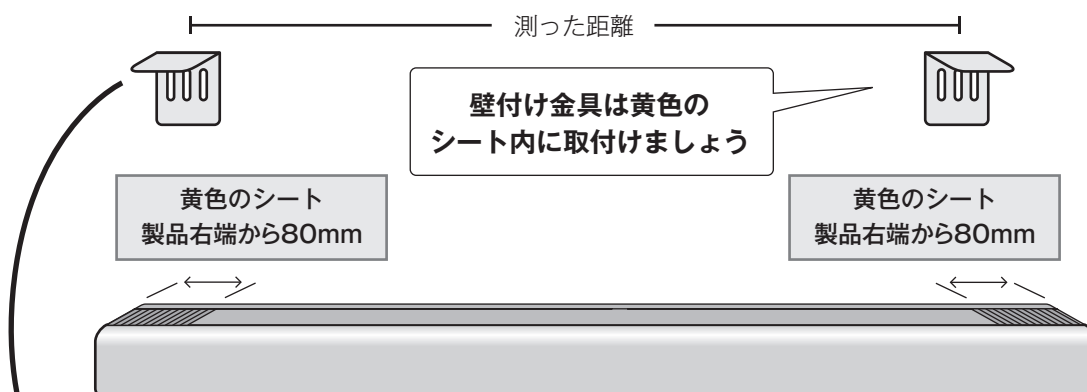


# スクリーン設置方法

## 壁付けの設置方法

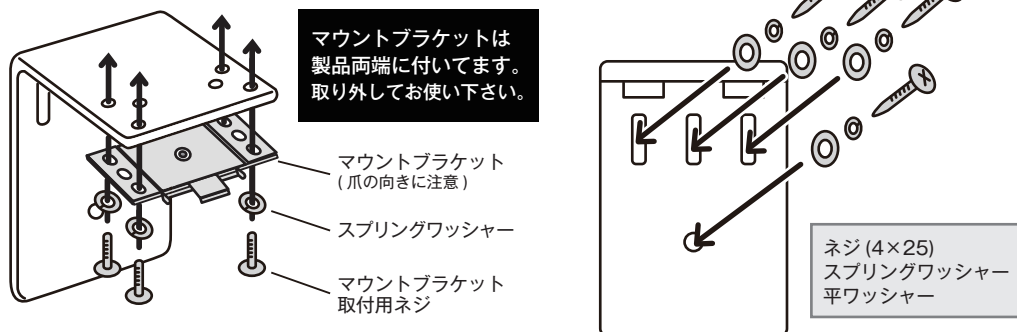
### ① 壁付け金具 (別売) を壁に取り付けます

「天井付け」と同様に壁付け金具(別売)の取付位置を決めます。壁付け金具(別売)はスクリーン両端にある黄色のシートの範囲内に取付けてください。



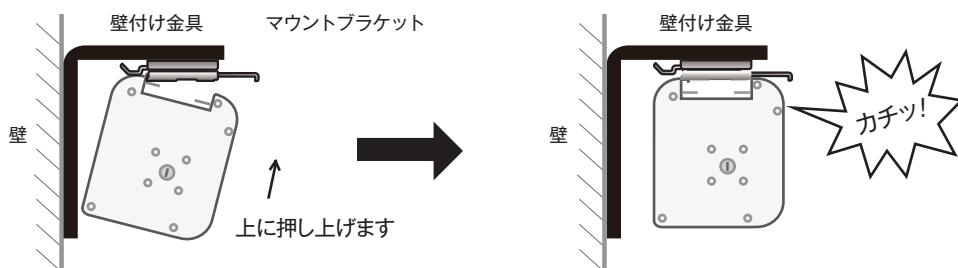
### ● 壁付け金具(別売)の組立てと取り付け方法

オプションの壁付け金具(別売)にマウントブラケットをネジ(4本)で留めて、壁付け金具を壁にしっかりとネジ留めします。



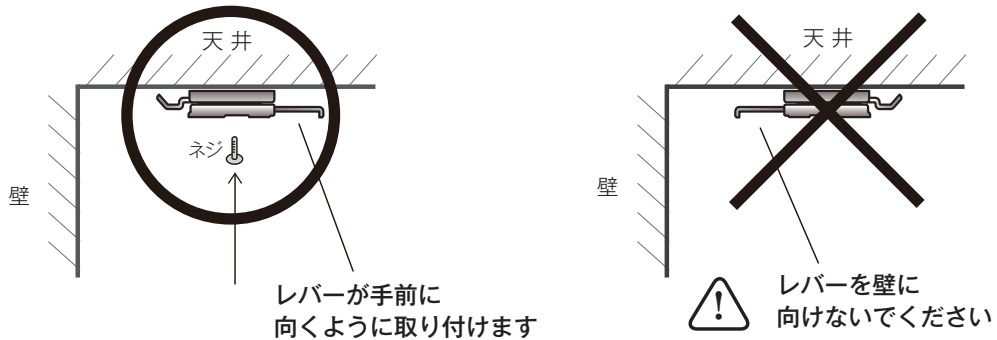
### ② スクリーンを取り付けます

最後にスクリーンを取り付けます。製品を斜めにしてマウントブラケットの片端にスクリーンの後ろ側を引っ掛け、上に押し上げてはめ込みます。この際カチッと音がするのを必ず確認して下さい。カチッと音がしない場合、しっかりロックがかかっていない可能性があります。落下の原因となります。

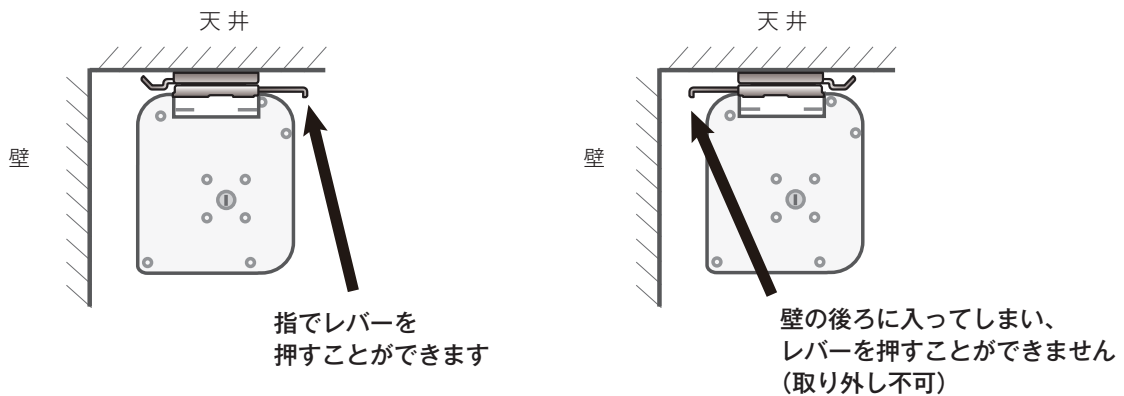


## マウントブラケット取付時の注意点

マウントブラケットを取り付ける時は、必ずマウントブラケットのレバー（長く出ている突起物）が手前に向くように取り付けて下さい。



マウントブラケットを逆に取り付けますと、壁に近い場合はブラケットレバーを押すことができず、スクリーンの取り外しができなくなる可能性があります。

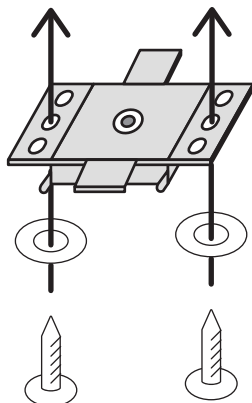


## マウントブラケットのネジ穴について

マウントブラケットには6つのネジ穴があり、設置場所によって使用するネジ穴が異なりますので、ご注意ください。

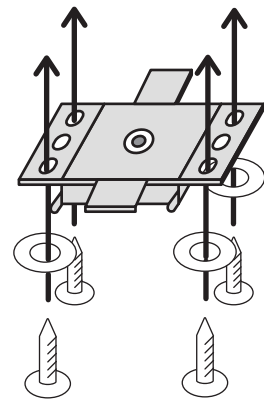
天井付けの場合

中央のネジ穴  
2ヶ所で留めます



壁付けの場合

両端4ヶ所のネジ穴で  
壁付け金具に留めます



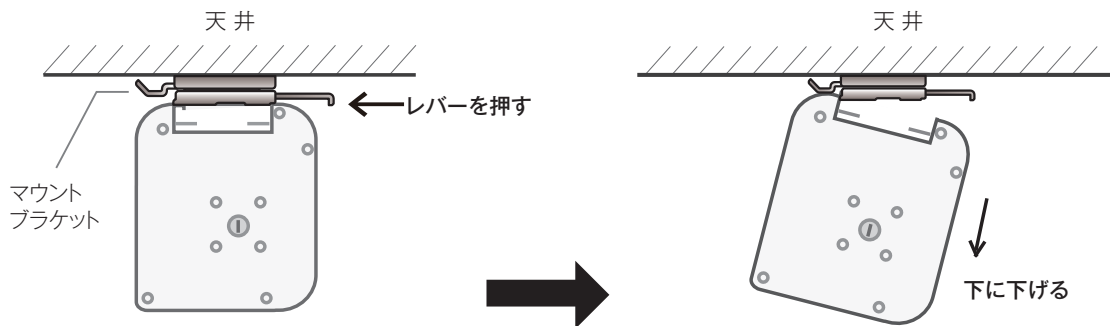
## スクリーンの取り外し方法

スクリーンを取り外す時は、マウントブラケットのレバーを押込み、スクリーンを取り外します。レバーを押したら図のように、手前を下に下げて取り外してください。



注意

- ・スクリーンは上部まで巻上げた状態で作業を行ってください。
- ・製品は必ず手でしっかり保持しながら行ってください。保持しない場合は突然落下する可能性があります。

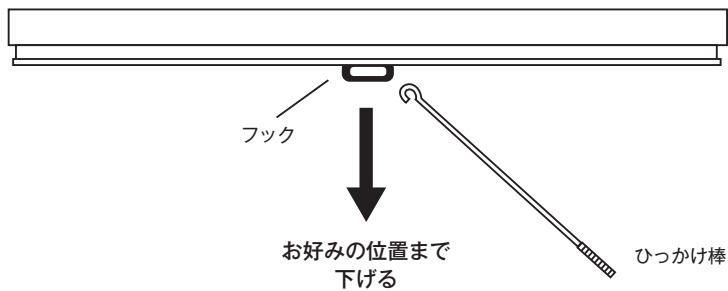


## 操作方法

### スクリーンを下げる時

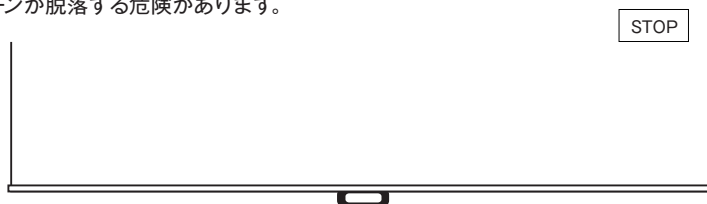
- ① 付属のひっかけ棒をスクリーンのフック部分に引っ掛けて下に動かし、任意の位置で止めるとスクラッチが自動的に作動し止まります。

※必ずボトムバーがまっすぐ下がるように操作してください。



- ② スクリーン右上に「STOP」シールが現れたら、それ以上はスクリーンを降ろさないで下さい。

※スクリーンが脱落する危険があります。

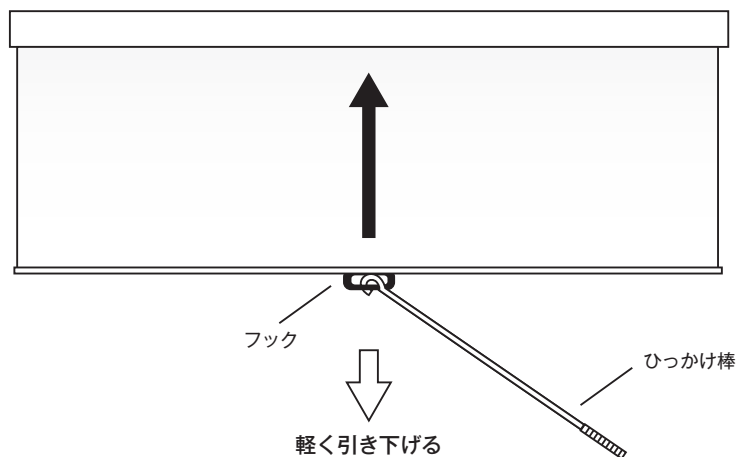


## 操作方法

### スクリーンを上げる時

※ 必ずボトムバーがまっすぐ上がるように操作してください。

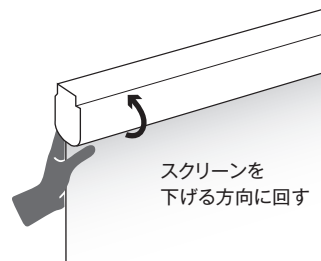
付属のひっかけ棒をフック部分に引っ掛け、軽く下に引き下げることでロックを解除します。ひっかけ棒を外してもバネの力で巻き上がります。



### ⚠ スクリーンが下がりがきって巻き上がらない場合

基本的には、スクリーンの「STOP」シール以上に引き出さないようにご注意ください。誤ってスクリーンを最後まで引き出してしまうと最終ロックが掛かってしまい、スクリーンの昇降が出来なくなります。

- ① 開口部に手を入れて、直接ローラーを図の矢印方向(スクリーンを下げる方向)に手で回し、ゆっくりと離してください。
- ② 最終ロックが解除されて、スクリーンが巻上がります。



## 製品修理と張替えサービス

### 修理のご依頼について

修理お問い合わせの前に症状の対処方法をご確認ください。

※ 詳しくはホームページ内、総合サポート「修理のご相談について」をご覧ください。

問い合わせ (メール・電話) ➡ 商品取り外し・発送 ➡ お見積り ➡ 修理代金決済 ➡ 修理 ➡ 商品返送

※ 商品の取り外し・再取り付けにかかる費用・商品返送の運送便手配については、お客様側での対応となります。

### スクリーン生地張替サービス

ご購入後10年以内であれば、スクリーン張替え(幕面交換)サービスが受けられます。(有償サービス)

※ 詳しくはホームページ内、総合サポート「スクリーン生地の張替サービス」をご覧ください。

## 製品の保証について

安全上に関する重要な内容ですのでよくお読みの上、必ずお守りください。  
誤った使用をした場合、事故により使用者が重傷を負う危険性があるものを「警告」、  
傷害を受けたり物的損害の発生が想定されるものを「注意」として明記しています。



気をつける必要があることを  
表しています。



してはいけないことを  
表しています。

### 警告



禁止

- ・この製品は非防水です。浴室や屋外等の湿気、水気の多い場所での使用はできません。
- ・分解・改造は絶対にしないでください。故障の原因となります。
- ・スクリーン右上に「STOP」シールが現れたら、それ以上は降ろさないでください。スクリーンが脱落する危険があります。



注意

- ・取り付けは製品重量に耐える場所に本取扱説明書に従って確実に行ってください。落下時によるけが・故障の原因になります。

### 注意



注意

- ・この製品は屋内専用0～40℃の範囲内でご使用になってください。  
サウナ、湯沸かし器近く、ボイラー室等では使用しないでください。
- ・器具やスクリーンをシンナー等の揮発性の物で拭いたりしないでください。  
変形や割れ、変色の原因になります。
- ・ボトムバーやスクリーンに物を吊るしたり貼らないでください。  
重荷が大きくなり、上昇・停止ができなくなります。
- ・スクリーンの昇降する範囲に傷害となるものや破損するような物は置かないでください。

取扱説明書、本体添付ラベルなどの注意書きに従った使用状態で保証期間内に  
故障した場合には、ご購入から10年間の間、無償修理とさせていただきます。

### 保証の免責事項

保証期間内でも次の場合には原則として有料とさせていただきます。

- (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
- (2) 当社の取扱説明書、カタログ等に記載されている使用条件環境の範囲を超えた使用による故障及び損傷
- (3) 当社指定以外の他社商品との特殊な組み合わせ施工及び使用による故障及び不具合
- (4) 施工上の不備に起因する故障及び損傷
- (5) お買い上げ後の取り付け場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
- (6) 火災地震、水害落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)、公害、塩害、ガス害(硫化ガスなど)による故障及び損傷
- (7) 車両、船舶などに搭載された場合に生ずる故障及び損傷
- (8) 法令で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
- (9) 日本国内以外でのご使用による故障及び損傷
- (10) 経時変化によるスクリーン生地の日焼け、汚れ、ホコリなど

### 修理を依頼される時

万一故障が起きた場合は、お買い上げの販売店までお申し出ください。